

保護者のみなさんへ

子どもたちの防火教育は、保護者がみずから進んで防火を心がけ、子どもたちのお手本になることが大切です。

子どもたちが火に興味を持つようになったら、その怖さと正しい扱い方を教えましょう。また子どもたちの命を火災から守るため次のことに注意しましょう。

火遊びをしないように
注意しましょう。

マッチ・ライターは
子どもの手の届く所に
置かない。



小さな子どもだけを
残して外出しない
ようにしましょう。

やむを得ないときは、
近所の人などに見回り
を頼む。



ストーブの近くで
遊ばせないように
しましょう。



大切な家族の命や財産を守るために、
住宅用火災警報器を設置しましょう。

住宅用火災警報器は、設置から10年を目安に
新しいものへ交換しましょう。

